



1. Otemachi One タワーより、皇居を見る
2. 大手町三井ホール
3. 1階共用ロビー
4. Otemachi One タワー アトリウム



日建連表彰2024



第65回BCS賞

Otemachi One

選定理由

【選考委員】
稲山正弘・村松弘治・大西正修

Otemachi Oneは、日本経済発展の中心的な役割を担ってきた大手町地区の都市機能や環境を、次世代に引き継ぐための都市の更新プロジェクトである。敷地は皇居お濠端に面した歴史的な風格ある景観ゾーンに位置し、かつ大手町の中心街にも面するという二面性を持っている。従前三つの敷地であったものを一つの街区に再編し、高容積の都市開発を行うとするものだが、街区の一面に「将門塚」の敷地がくい込んでいることが、このプロジェクトをユニークなものにし、魅力を与えることにもなっている。

レベルでは水と緑のオープンスペースをつくり出し、ツインタワーレベルではテナントオフィスから皇居への視覚的な抜けを確保している。このことは、皇居側から見ると都市景観に贅を与えているようで、皇居前景観の奥行き感が増している。大手町の地下歩行者ネットワークは、大階段アトリウムを経てこの地上レベルのオープンスペースにつながるっており、大手町にあつては貴重な水と緑の空間へと誘われる。

建物はツインタワーになっているが、低層部は一体的な構造にしている。七階に平面トラス状の鉄骨連結梁を配置することで、EXP.Jのない四層吹き抜けの共通ロビー空間を実現している。ツインタワーの足を制振技術で一体にし、豊かな共用部をつくり出した稀有な事例となった。低層部に共用使用の機械室などを多く配置しており、EXP.Jのない低層部は設備系の合理化

にも寄与している。

Otemachi Oneは、三井物産本社とテナントオフィスに加えて、業務に偏らないまちづくり方針のもと、三階に多目的ホール、高層棟最上部にファイブスターホテルを設けている。多目的ホールは最も皇居側に位置し、ホール内からは眼前に圧倒的な皇居の緑が広がる。コンサートモードで窓面に音響反射板を下ろしても、透けた隙間から緑の広がりを感じられる。外部からはイベントの雰囲気を感じられ、業務ゾーンの雰囲気を感じられ、業務ゾーンのな街に彩りを添える一画になっている。眼下に皇居を望むホテルと合わせて、国際都市東京の地

位向上に資する拠点となるだろう。環境・BCPの面では、既存地域冷暖房施設から周辺への供給ルー트를引き継ぎ、スムーズな都市インフラの更新を果たしたうえで、排熱利用や数々の省エネ制御技術により、大規模複合施設でありながらB E I I O・六六を達成している。非常時の帰宅困難者受入対応に加えて、更なる非常時エネルギー対応も図られており、大手町におけるサステナブルな拠点となっている。今後、主要な建物や街が次世代に向けて更新を図っていくなかで、Otemachi Oneのまちなみは、その先導となっていくだろう。

Otemachi One 概要

- 所在地 東京都千代田区大手町1-2-1
- 建築主 三井物産(株)、三井不動産(株)
- 設計者 (株)日建設計、鹿島建設(株)
- 施工者 鹿島建設(株)
- 竣工日 2022年12月6日

- 敷地面積 20,864㎡
- 建築面積 11,852㎡
- 延床面積 358,687㎡

- 階数 地上40階、地下5階、塔屋1階
- 構造 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造



詳細や他の写真などは左記の二次元コードからWebページにアクセスしてご覧ください。

《日建連表彰2024 第65回BCS賞受賞作品》 石川県立図書館／エスコンフィールドHOKKAIDO／Otemachi One／OKI本庄工場H1棟／春日台センターセンター／京都東山計画(山荘 京大和・パーク ハイアット 京都)／高槻城公園芸術文化劇場／東京ミッドタウン八重洲／ところざわサクラタウン／那須塩原市図書館 みるる／福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館／MIYASHITA PARK／明治大学創立140周年記念 和泉ラーニングスクエア／屋島山上交流拠点施設「やしまる」／読売テレビ新社屋

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2024年で65回を数えました。